

## 木曾養護学校 学校評価に関するアンケートまとめ (保護者・職員)

### 小学部

|          | A  | B | C | D |
|----------|----|---|---|---|
| 1個別の指導計画 | 8  | 3 |   |   |
| 2温かな支援   | 8  | 3 |   |   |
| 3各部の重点   | 9  | 2 |   |   |
| 4家庭への発信  | 10 | 1 |   |   |
| 5将来への取組  | 7  | 2 | 1 |   |

#### 考察

「子どもたちの親以上に考えてくれて本当に感謝しています。」「いつも先を見据えて活動指導をしていただけてありがたく思っています。これからも子どもの成長と将来の姿を考えたよき指導支援を」「得意な分野苦手とする分野を交互に入れり組み合わせたりして個別の時間めいっぱい飽きさせず無駄なく学習させていただけることに感謝しました」などお子さんの実態に合わせて適切な支援を行ってきたことを多くの保護者から評価されました。また学習した挨拶が日常の場面で生かされたこと、学校全体で共有したいことも指摘されました。今後もこうした支援を継続しつつ将来を見すえつきたい力を明確にして教育活動を行って行きます。

### 中学部

|          | A | B | C | D |
|----------|---|---|---|---|
| 1個別の指導計画 | 6 | 2 |   |   |
| 2温かな支援   | 6 | 2 |   |   |
| 3各部の重点   | 5 | 3 |   |   |
| 4家庭への発信  | 6 | 2 |   |   |
| 5将来への取組  | 5 | 3 |   |   |

#### 考察

「個別の指導計画では将来に向けてトイレに行くときはおしりを出さないようにズボンの前だけを下ろして用をたせることを考えていただき実行できるようになりうれしかった」「やれないこともあり心配も絶えませんが子どもの特徴に合わせて支援していただき感謝しています」「家庭科の授業も今後のことを考えると役に立つことでなかなか家ではできないのでうれしい」など個別の計画に基づいた学習支援を評価していただきました。今後も将来を見すえて自立と社会参加に向けた取組を進めたいと思います。

### 高等部

|          | A  | B | C | D |
|----------|----|---|---|---|
| 1個別の指導計画 | 14 | 9 |   | 1 |
| 2温かな支援   | 18 | 6 |   | 1 |
| 3各部の重点   | 18 | 5 |   |   |
| 4家庭への発信  | 16 | 8 |   | 1 |
| 5将来への取組  | 16 | 6 |   |   |

#### 考察

「学校でやっている様子を毎日連絡帳で知らせてくださるのでありがたい」「先生方の温かいまなざしご指導のおかげで息子は充実した一日を過ごすことができている。本当に感謝の気持ちで一杯です」「卒業の年となる今年度いい先生に恵まれ本当にありがたく思っています」というお子さんへの支援対応に評価をいただきました。一方で「少しでも成長が伺えるような形を一緒に考えていただけるようにしたい」「居場所としてただ学校である限り一歩でも二歩でも新しいステップを踏み出し小さな事でも「できた」を増えやして「進路が心配」など切実でより個に即した教育課程のあり方についてご指摘いただきました。来年度は、学級編制をかね教育課程を改善しよりよい方向をめざしていきます。

### 寄宿舎

|          | A | B | C | D |
|----------|---|---|---|---|
| 1個別の指導計画 | 7 | 2 |   | 1 |
| 2温かな支援   | 8 | 2 |   |   |
| 3各部の重点   | 7 | 3 |   |   |
| 4家庭への発信  | 8 | 1 | 1 |   |
| 5将来への取組  | 6 | 3 |   | 1 |

#### 考察

「初めての寄宿舎での生活はどうか不安もありましたが連絡帳も写真入りですごく様子もわかり先生方もいろんな先生から様子を聞くことができうれしかったし安心した」「人との関わり生活習慣など身についたなど成長を感じた」というように、寄宿舎での規則正しい生活習慣がお子さんにとって成長したことや連携について評価をいただきました。今後も個別の移行支援計画に従って家庭と連携を取り合いながら、進めていきたいと思えます。

### 訪問教育部

・今年もfacetimeで、学習発表会や作業の終わりの会やD組と通信しました。「友だちの顔が見えたり、声が聞こえると、とてもいい表情になります」「なかなかスクーリングに行けず、直接友だちや先生方と会う機会が少ないので、こうしてリアルタイムでみんなと会話できる機会は貴重です。環境整備やセキュリティの問題など解決して、これからもこうした通信が継続して行えるようにしていただきたいです」等、環境設定に関するご指摘をいただきました。今後は、継続的にやりとりできる環境作りをめざしていきます。

### 合計

|          | A  | B  | C | D |
|----------|----|----|---|---|
| 1個別の指導計画 | 35 | 16 | 0 | 2 |
| 2温かな支援   | 40 | 13 | 0 | 1 |
| 3各部の重点   | 39 | 13 | 0 | 0 |
| 4家庭への発信  | 40 | 12 | 1 | 1 |
| 5将来への取組  | 34 | 14 | 1 | 1 |

#### 来年度にむけて改善していくこと

- ①部を超えて子どもも親も先生もみんなであいさつを交わしたい。
- ②部活通年検討を行う。
- ③午後の参観日日程を組めるよう参観旬間を計画する。
- ④就労に向けて地域企業の開拓や実習などを積極的に行い充実を図る。
- ⑤高等部教育課程の改善を行う。
- ⑥保護者や地域との連携をより密にし、積極的に発信を行う。

### 職員

|          | A  | B  | C | D |
|----------|----|----|---|---|
| 1個別の指導計画 | 8  | 21 |   |   |
| 2温かな支援   | 23 | 7  |   |   |
| 3各部の重点   | 12 | 17 |   |   |
| 4家庭への発信  | 12 | 17 | 1 |   |
| 5将来への取組  | 5  | 22 | 2 |   |

#### 来年度に向けて改善していくこと

- ①「個の力を伸ばす広げるつなげる使う」をもとに各部の特色ある活動を進める。  
小中：個別課題別生活単元学習の見直し 高：学級編制 作業学習のスキルアップ  
学校 馬の学習の充実
- ②安心安全な学校づくりのために人権意識を高め、効果的な支援を追求する。
- ③学校課題に即した研修の充実を図り児童生徒保護者の教育的ニーズに応える。